

兵庫県下の経済動向

平成30年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	1 0
物 価	．．．．．	1 1
雇 用	．．．．．	1 3
信 用 保 証	．．．．．	1 5
金 融	．．．．．	1 6
倒 産	．．．．．	1 7

【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに拡大している。

個人消費は、緩やかに持ち直している。

また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は弱めの動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が 2 か月ぶりに前年実績を上回った。

乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

家電販売は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

貿易は、輸出は、中国を始めとするアジア向けを中心に増加したため、前年を上回った。輸入は、前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前年を下回った。

雇用関係では、新規求人数は前年を上回り、有効求人倍率は前月から横ばいとなった。

また、所定外労働時間、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったが、負債金額は前年を上回った。

兵庫 C I 及び兵庫 D I から見た県内の景気動向

2 月の兵庫 C I は、先行指数 101.5、一致指数 118.7、遅行指数 108.1 となった。

2 月の兵庫 D I は、先行指数 28.6%、一致指数 37.5%、遅行指数 62.5%となった。

兵庫 C I は、先行指数が 2 か月ぶりに前月差増、一致指数が 3 か月ぶりに前月差増、遅行指数は 2 か月連続で前月差増となった。

一方、兵庫 D I は、先行指数が 2 か月連続で 50%を下回った。

県統計課は基調判断を「兵庫 C I 一致指数は、横ばい局面（下方への局面変化）を示している。」としている。

*兵庫 D I と兵庫 C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数（兵庫 D I）は 50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数（兵庫 C I）は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は104.0、前月比1.6%減で2か月ぶりに減少、出荷指数は103.1、同5.4%減で3か月ぶりに減少、在庫指数は116.3、同1.3%増で4か月連続で増加した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比2.8%増で2か月ぶりに増加、出荷は同1.6%増で6か月連続で増加、在庫は同3.4%増で9か月連続で増加した。

主要業種の生産動向を対前月比でみると、「鉄鋼業」(鍛鋼品等)が1.4%、「金属製品工業」(超硬チップ等)が0.6%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(ショベル系掘削機械等)が1.2%、「電気機械工業」(開閉制御装置等)が35.4%、「窯業・土石製品工業」(セメント等)が3.5%、「食料品工業」(小麦粉等)が1.9%各々増加し、「情報通信機械工業」(携帯電話等)が1.0%、「輸送機械工業」(発動機部品等)が2.9%、「化学工業」(医薬品等)が29.1%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる。」とした。

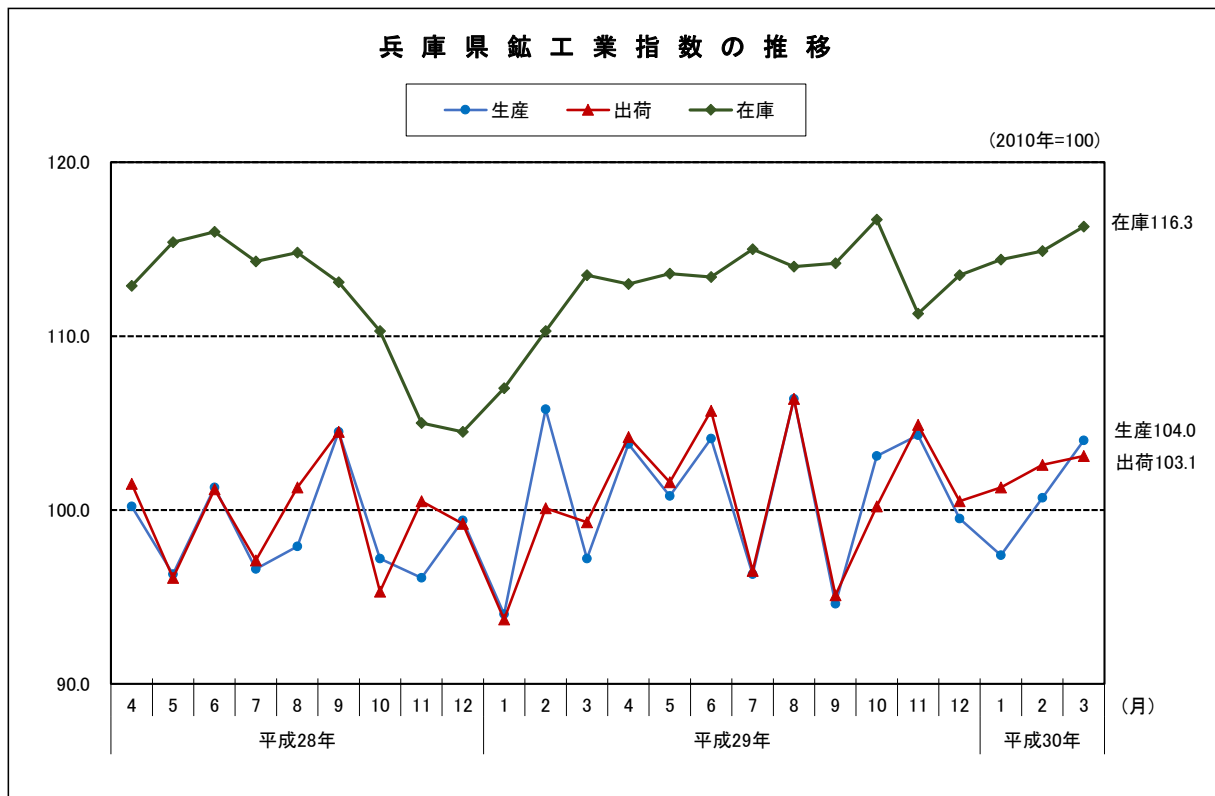
3月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	104.0	▲ 1.6	121.7	2.8
出 荷	103.1	▲ 5.4	121.4	1.6
在 庫	116.3	1.3	110.8	3.4
在 庫 率	119.5	▲ 5.6	99.0	3.6

資料：兵庫県企画県民部統計課

兵庫県鉱工業指数の推移



3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	96.3	1.4	上昇	鍛鋼品、ブリキ、亜鉛めっき鋼板、鉄系鍛工品
			低下	鋼半製品、粗鋼、普通鋼冷延広幅帯鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材
金属製品 工 業	93.2	0.6	上昇	超硬チップ、ガス温水給湯暖房機、PC鋼より線、うす板ばね
			低下	ガス風呂がま、鋼索、ねじり棒ばね、作業工具
はん用・生産 用・業務用 機械工業	87.7	1.2	上昇	ショベル系掘削機械、油圧バルブ、ボイラ部品、蒸気タービン部品
			低下	圧縮機、一般用蒸気タービン、ダイヤモンド工具、混合機・かくはん機・粉碎機
電気機械 工 業	166.3	35.4	上昇	開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、超音波応用装置、保護継電器
			低下	一般用タービン発電機、電気がま、電力変換装置、一般用エンジン発電機
情報通信 機械工業	102.6	▲ 1.0	上昇	カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置、入出力装置
			低下	携帯電話、ノート型パソコン、無線位置測定装置、搬送装置
輸送機械 工 業	154.0	▲ 2.9	上昇	特装ボデー、旅客車、船用ディーゼル機関、駆動伝導・操縦装置部品
			低下	発動機部品、機関部品、二輪自動車(125ml 超)、機体部品
窯業・土石 製品工業	103.8	3.5	上昇	セメント、ガラス製容器類、複層ガラス、安全ガラス
			低下	ほうろう鉄器製品、遠心力鉄筋コンクリート管、不定形耐火物、耐火れんが
化学工業	100.1	▲29.1	上昇	水系合成樹脂塗料、無水酢酸、塩化ビニル樹脂、脂肪酸
			低下	医薬品、化粧品、アクリル酸エステル、塩化ビニル(モノマー)
食料品工業	88.9	1.9	上昇	小麦粉、清酒、しょうゆ、ビール類
			低下	乳飲料、肉製品、牛乳、配合飼料

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた3月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比1.1%減の129億33百万円と、7か月連続で前年実績を下回った。

「美術・宝飾・貴金属」が23.9%減、海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」が5.8%減と、富裕層消費が伸び悩んだのが響いた。

一方、気温上昇による春物需要の高まりで、主力の衣料品が全体で2.5%増加。新社会人向け商品が健闘したほか、大丸神戸店の改装効果も続き「紳士服・用品」が大きく伸びた。

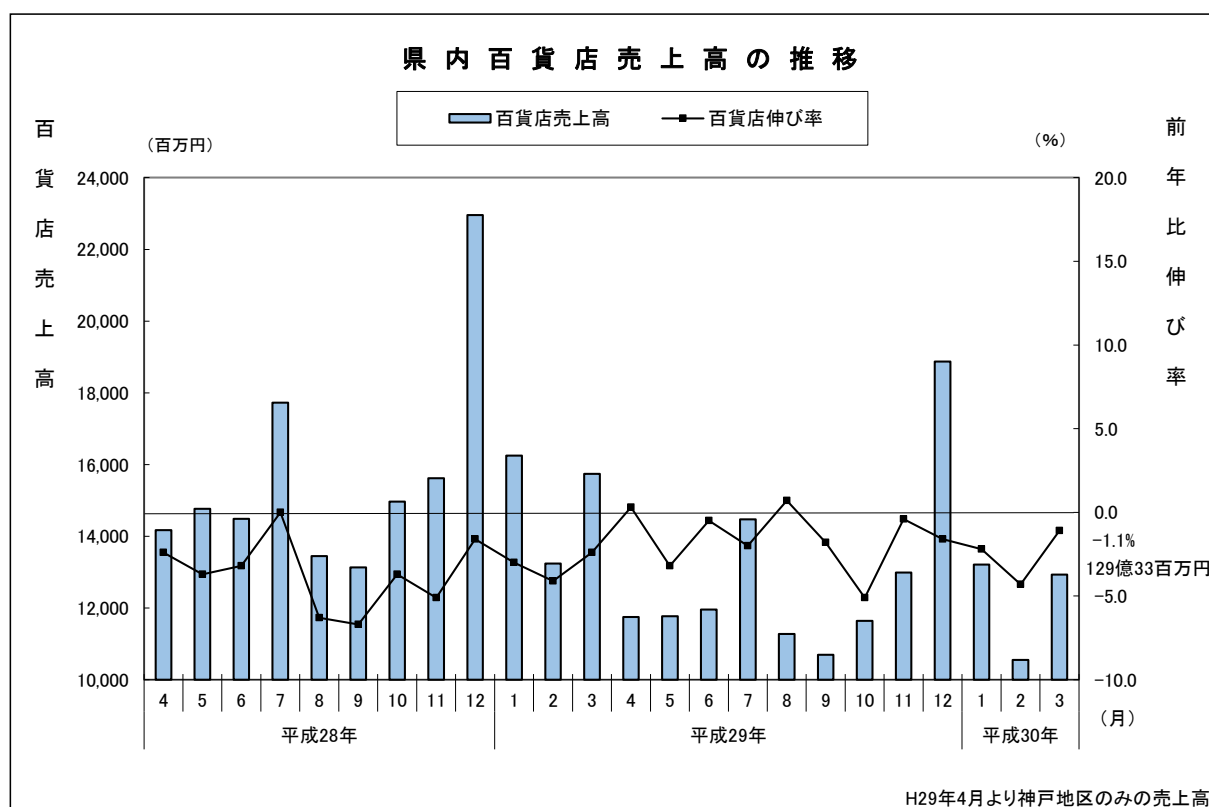
化粧品も10.9%増と好調だった。同協会は「春の新作の購入時期で、国内客が底堅く推移したとみられる」としている。

3月の神戸地区の百貨店売上高

品 目	売上高	前年同月比
紳 士 服 ・ 洋 品	672	20.6
婦 人 服 ・ 洋 品	4,071	0.8
子 供 服 ・ 洋 品	441	▲ 3.4
そ の 他 衣 料 品	194	▲ 0.1
身 の ま わ り 品	1,016	▲ 5.8
雑 貨	2,210	▲ 4.6
家 庭 用 品	448	▲ 1.3
食 料 品	3,468	▲ 2.5
食 堂 ・ 喫 茶	274	▲ 3.1
サ ー ビ ス	58	▲ 8.9
そ の 他	75	▲ 6.5
計	12,933	▲ 1.1

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は12,334台、前年同月比5.5%増と2か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,461台(前年同月比4.2%増)、小型乗用車は3,336台(同2.2%減)、軽乗用車は4,537台(同13.3%増)、乗用車合計で12,334台(同5.5%増)となった。

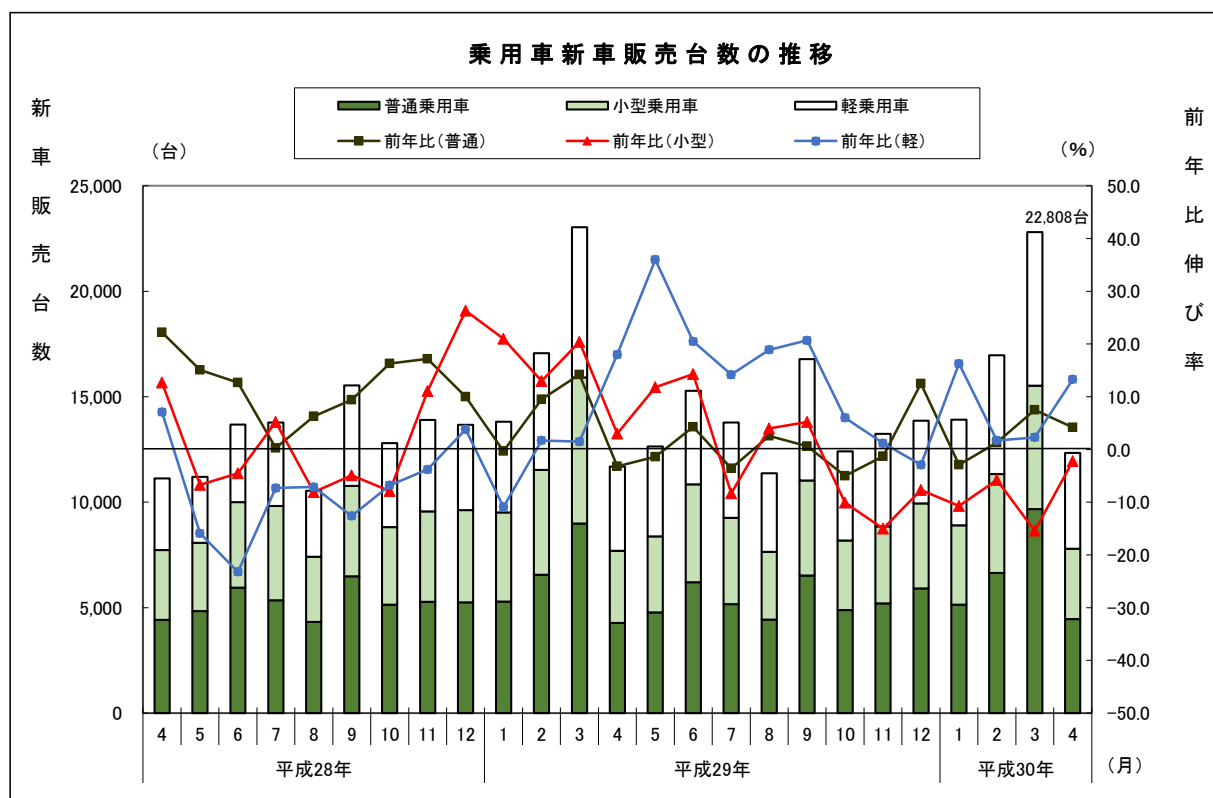
また貨物車等では、普通貨物車は353台(前年同月比15.0%増)、小型貨物車は641台(同25.2%増)、軽貨物車は998台(同11.6%減)、バスは22台(同24.1%減)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車 種	兵 庫 県	前年同月比	全 国	前年同月比
普 通 乗 用 車	4,461	4.2	96,648	▲ 1.1
小 型 乗 用 車	3,336	▲ 2.2	96,937	▲ 1.2
軽 乗 用 車	4,537	13.3	111,434	9.9
乗 用 車 合 計	12,334	5.5	305,019	2.6
普 通 貨 物 車	353	15.0	11,369	16.2
小 型 貨 物 車	641	25.2	19,401	11.3
軽 貨 物 車	998	▲ 11.6	29,322	0.7
貨 物 車 合 計	1,992	2.3	60,092	6.7
バ ス	22	▲ 24.1	1,035	▲ 8.8
登 録 車 総 計	14,348	4.9	366,146	3.2

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月17日に発表した機械受注統計によると、平成30年3月実績は以下のとおり。

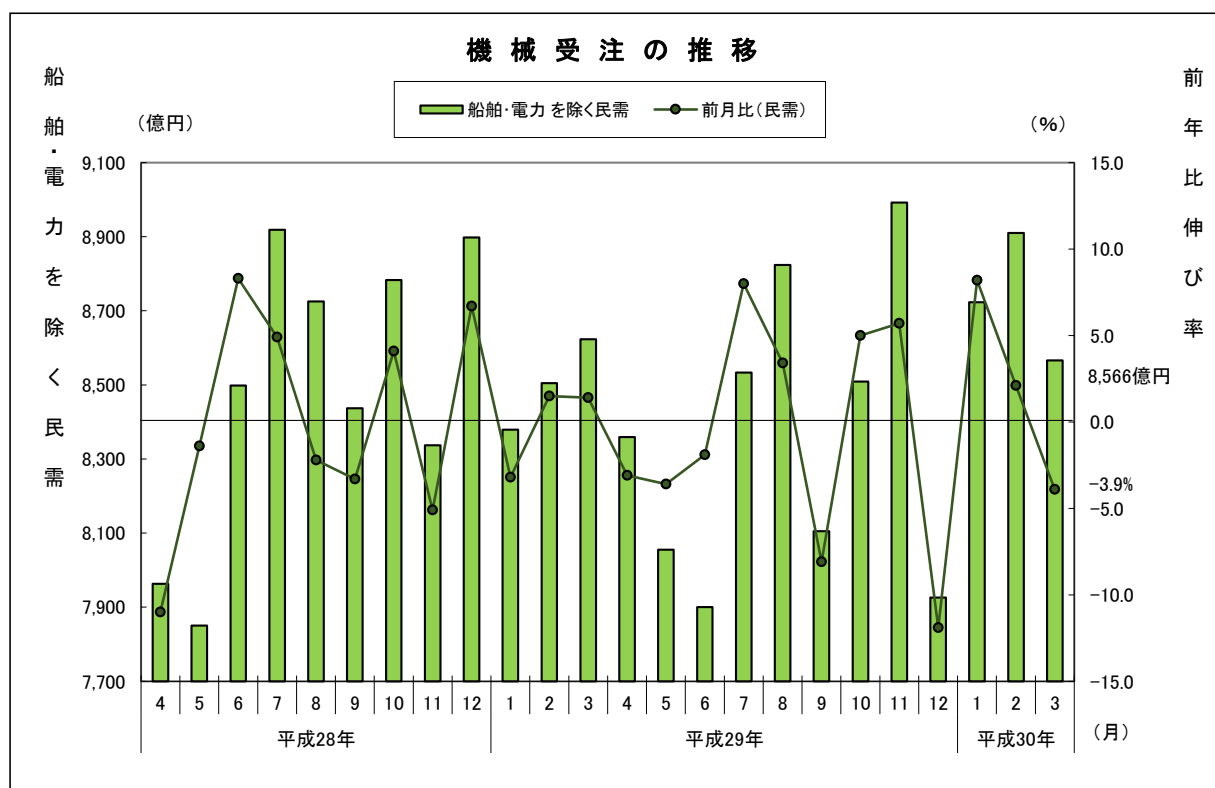
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成30年2月前月比2.3%減の後、3月は同7.9%減の2兆2,280億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比2.1%増の後、3月は同3.9%減の8,566億円となった。

内訳をみると、製造業は同17.5%減の3,650億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同2.2%増の4,759億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、業務用機械(6.2%増)、電気機械(14.7%増)、情報通信機械(2.7%増)、自動車・同付属品(1.6%増)、「その他製造業」(10.8%増)等の5業種で、食品製造業(19.6%減)、繊維工業(13.2%減)、パルプ・紙・紙加工品(49.1%減)、化学工業(15.6%減)、石油製品・石炭製品(12.4%減)、窯業・土石製品(24.8%減)、鉄鋼業(41.5%減)、非鉄金属(42.3%減)、金属製品(3.7%減)、はん用・生産用機械(2.5%減)、造船業(71.8%減)、その他輸送用機械(45.3%減)等の12業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、農林漁業(4.3%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(25.1%増)、建設業(22.4%増)、運輸業・郵便業(10.2%増)、通信業(14.4%増)、卸売業・小売業(18.4%増)、金融業・保険業(3.3%増)等の7業種で、電力業(62.1%減)、不動産業(6.1%減)、情報サービス業(18.7%減)、リース業(5.2%減)、「その他非製造業」(14.5%減)等の5業種は減少となった。



機 械 受 注 統 計 (平成 30 年 3 月分)

	2017 年 4～6 月 実績	7～9 月 実績	10～12 月 実績	2018 年 1～3 月 実績	4～6 月 見通し	2017 年 12 月 実績	2018 年 1 月 実績	2 月 実績	3 月 実績
受 注 総 額	67,991 (1.7) [4.6]	72,307 (6.3) [13.0]	75,185 (4.0) [3.6]	71,213 (-5.3) [4.6]	78,248 (9.9) [10.6]	23,681 (-13.4) [-5.6]	24,745 (4.5) [10.7]	24,188 (-2.3) [9.4]	22,280 (-7.9) [-1.0]
民 需	28,875 (-0.7) [-2.7]	30,525 (5.7) [1.6]	31,466 (3.1) [-4.1]	30,372 (-3.5) [0.6]	32,433 (6.8) [8.2]	10,206 (-6.0) [-15.9]	9,856 (-3.4) [5.3]	11,321 (14.9) [7.5]	9,196 (-18.8) [-5.0]
〃 (Ex 船・電)	24,598 (-3.4) [-1.0]	25,289 (2.8) [-2.5]	25,366 (0.3) [0.0]	26,198 (3.3) [0.2]	28,068 (7.1) [7.9]	8,060 (-9.3) [-5.0]	8,723 (8.2) [2.9]	8,910 (2.1) [2.4]	8,566 (-3.9) [-2.4]
製 造 業	10,797 (2.6) [3.5]	11,467 (6.2) [9.2]	11,873 (3.5) [13.3]	12,168 (2.5) [10.6]	13,368 (9.9) [18.0]	3,726 (-8.5) [3.0]	4,094 (9.9) [16.8]	4,423 (8.0) [21.4]	3,650 (-17.5) [1.5]
非製造業 (Ex 船・電)	13,892 (-8.1) [-4.5]	13,897 (0.0) [-10.1]	13,602 (-2.1) [-9.7]	14,070 (3.4) [-6.9]	14,586 (3.7) [0.1]	4,457 (-5.3) [-10.9]	4,654 (4.4) [-7.0]	4,657 (0.0) [-10.4]	4,759 (2.2) [-4.9]
官 公 需	7,133 (-11.7) [1.9]	7,959 (11.6) [1.0]	7,562 (-5.0) [-12.7]	7,075 (-6.4) [-7.8]	7,155 (1.1) [-1.6]	2,554 (1.8) [-12.6]	2,076 (-18.7) [-32.5]	2,566 (23.6) [6.7]	2,432 (-5.2) [-4.6]
外 需	28,301 (7.9) [12.4]	30,806 (8.8) [32.6]	30,985 (0.6) [17.7]	30,471 (-1.7) [14.3]	33,897 (11.2) [16.3]	9,829 (-8.2) [10.5]	10,971 (11.6) [27.2]	10,113 (-7.8) [14.8]	9,386 (-7.2) [5.7]
代 理 店	3,795 (5.8) [13.9]	3,695 (-2.6) [4.7]	3,644 (-1.4) [2.8]	3,656 (0.3) [1.7]	3,830 (4.7) [2.5]	1,193 (-3.7) [-3.8]	1,156 (-3.1) [7.8]	1,194 (3.3) [-5.1]	1,306 (9.3) [3.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工総数は2,750戸(前年同月比14.4%増)となり前年を上回り、前月比では121戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が742戸(前年同月比8.3%減)、「貸家」が989戸(同6.3%増)、「分譲住宅」が1,017戸(同53.2%増)となった。

3月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

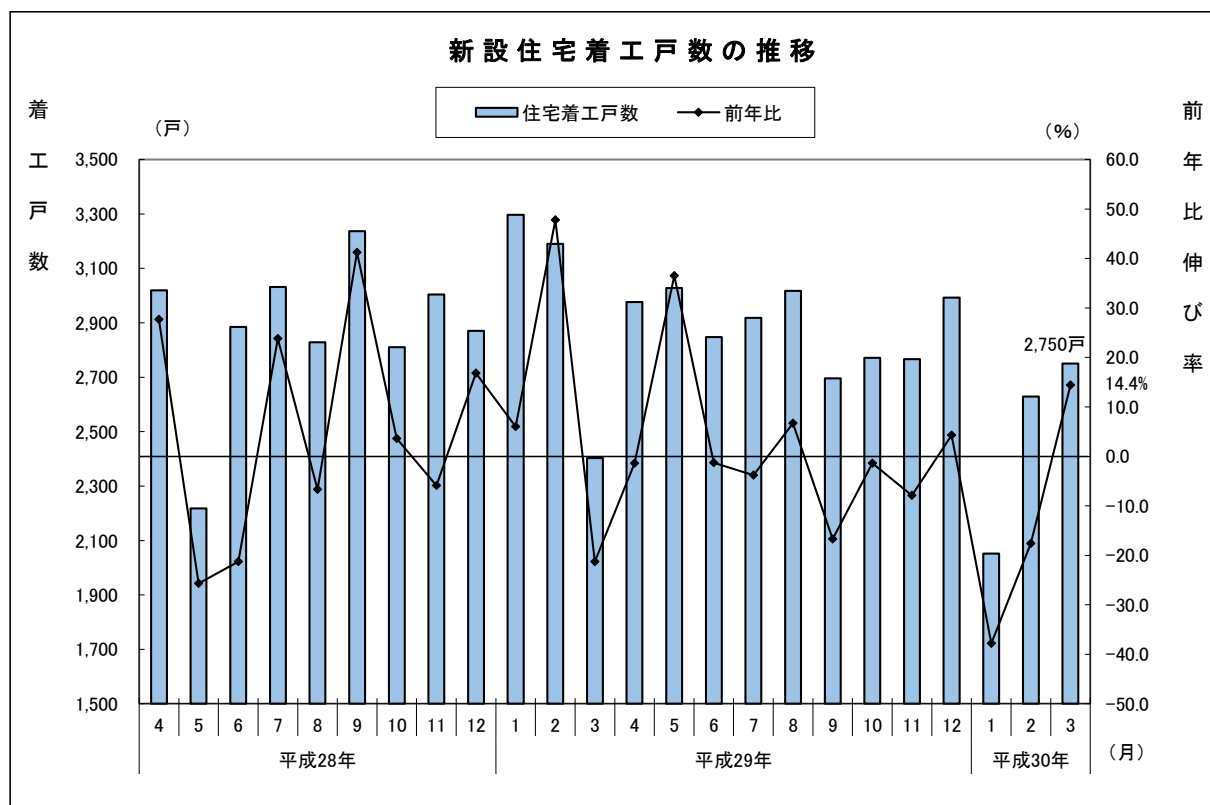
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	742	▲ 8.3	20,576	▲ 4.2
・分譲住宅	1,017	53.2	19,019	▲ 3.6
貸家系・貸家	989	6.3	29,750	▲ 12.3
・給与住宅	2	-	271	▲ 64.1
総数	2,750	14.4	69,616	▲ 8.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

3月の地域別着工戸数 (単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,149	440	242	386	149	232	64	43	27	18	2,750
前月比	136.4	▲41.0	▲20.9	32.6	11.2	▲54.2	▲1.5	87.0	▲12.9	▲56.1	4.6

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は376件で前年同月比8.0%の増加、請負金額は418億1百万円で前年同月比7.6%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」前年同月比80.0%、「国」同50.1%、「兵庫県」同18.0%の増加となったが、「その他の団体」同40.6%、「神戸市を除く市町」同44.4%、「独立行政法人等」同52.9%の減少となったため、前年同月比7.6%の減少となった。

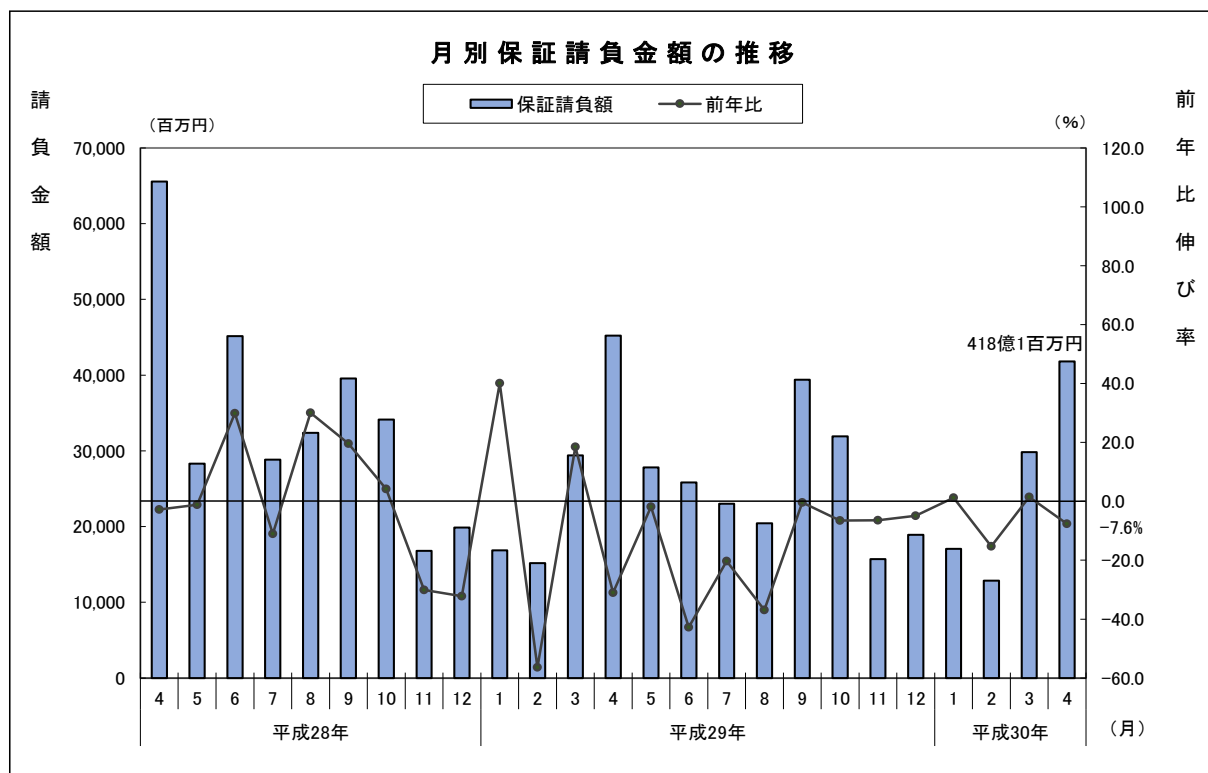
地域別(金額ベース)では、丹波(前年同月比113.6%増)、但馬(同21.0%増)、淡路(同20.5%増)、阪神南(同16.4%増)、北播磨(同5.7%増)が増加したが、神戸市(同2.7%減)、西播磨(同7.2%減)、阪神北(同47.2%減)、中播磨(同54.3%減)、東播磨(同72.5%減)が減少したため、前年同月比7.6%の減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：％

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	28(12.0)	3,433(50.1)	東播用水二期農業水利事業山田幹線水路(緑が丘サイホン)建設工事
独立行政法人等	15(▲16.7)	3,649(▲52.9)	神戸高速道路事務所管内舗装補修工事(平成29年度) 他2件
兵庫県	207(29.4)	16,812(18.0)	病企第10号県立柏原・柏原赤十字統合新病院及び丹波市地域医療総合支援センター(仮称)建築工事
神戸市	35(16.7)	8,889(80.0)	2706-018 西部処理場北系水処理施設築造工事(土木) 他3件
神戸市を除く市町	77(▲22.2)	7,211(▲44.4)	大手前通り(南工区)再整備工事 他4件
その他の団体	14(▲12.5)	1,805(▲40.6)	六甲北有料道路(神戸北インター～大沢インター)道路改良工事
合計	376(8.0)	41,801(▲7.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成30年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,495億円、前年同月比4.1%の増加で、総額ベースで15か月連続して増加となった。輸出は電池などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、原動機などが増加した。一方、輸入は無機化合物などが減少したものの、非鉄金属、金属鉱及びくずなどが増加した。

輸出は4,801億円(前年同月比6.0%増)と2か月連続で増加した。

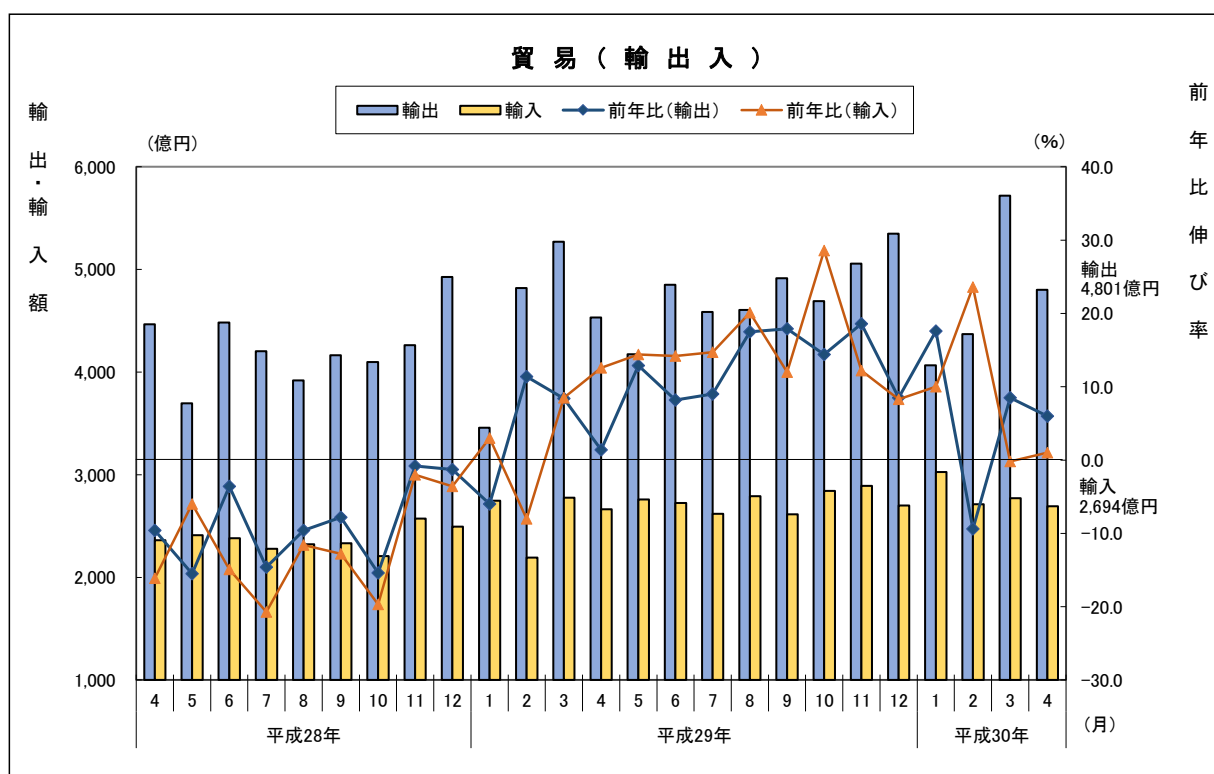
主要品目では、プラスチック(前年同月比3.0%増、2か月連続プラス)、原動機(同18.8%増、2か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同16.0%増、2か月連続プラス)が増加したが、織物用糸及び繊維製品(同5.7%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比21.0%増、2か月連続プラス)、EU(同13.4%増、2か月連続プラス)、アジア(同11.5%増、2か月連続プラス)が増加し、米国(同10.9%減、3か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,694億円(前年同月比1.0%増)と2か月ぶりに増加した。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比3.7%増、2か月ぶりにプラス)、有機化合物(同5.4%増、2か月ぶりにプラス)、非鉄金属(同30.7%増、18か月連続プラス)が増加し、たばこ(同0.2%減、16か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比8.9%増、15か月連続プラス)が増加し、中国(同5.3%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(同4.1%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、米国(同13.0%減、3か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.8(2015年=100)となり、前月比は0.1%の減少、前年同月比は0.6%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は100.7となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.5%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く指数は101.0となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.3%の増加となった。

前月からの動きを見ると、シャツ・セーター・下着類などの増加により「被服及び履物」が2.8%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.6%、保健医療サービスなどの増加により「保健医療」が0.5%、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が0.2%、授業料等などの増加により「教育」が0.6%、身の回り用品などの増加により「諸雑費」が0.3%、家事用消耗品などの増加により「家具・家事用品」が0.2%増加した。

しかし、野菜・海藻などの減少により「食料」が0.8%、交通などの減少により「交通・通信」が0.3%減少した結果、総合指数では0.1%の減少となった。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指 数	100.8	102.8	100.3	95.2	97.0	101.4	102.7	99.2	103.2	100.6	102.6	100.7	101.0
前月比	▲0.1	▲0.8	0.0	0.6	0.2	2.8	0.5	▲0.3	0.6	0.2	0.3	0.2	0.1
前年同月比	0.6	1.5	▲0.1	1.9	▲1.4	▲1.7	2.6	1.0	0.9	▲0.1	0.7	0.5	0.3

(注)2015年=100

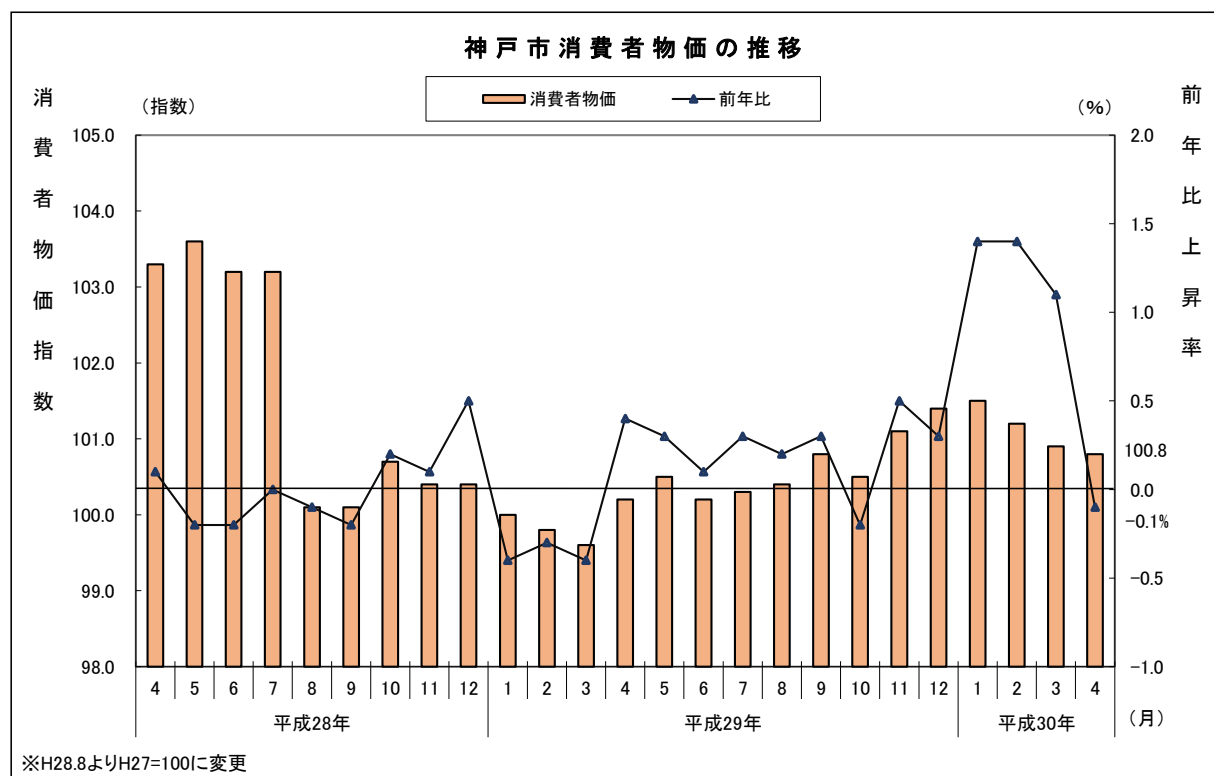
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

シャツ・セーター・下着類 (10.7%)・・・婦人用Tシャツ(長袖)
ガス代 (0.9%)・・・都市ガス代

○対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (▲7.2%)・・・生鮮野菜(レタス、キャベツ)
家庭用耐久財 (▲0.6%)・・・航空運賃



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2018年4月の企業物価指数は次のとおり。

4月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

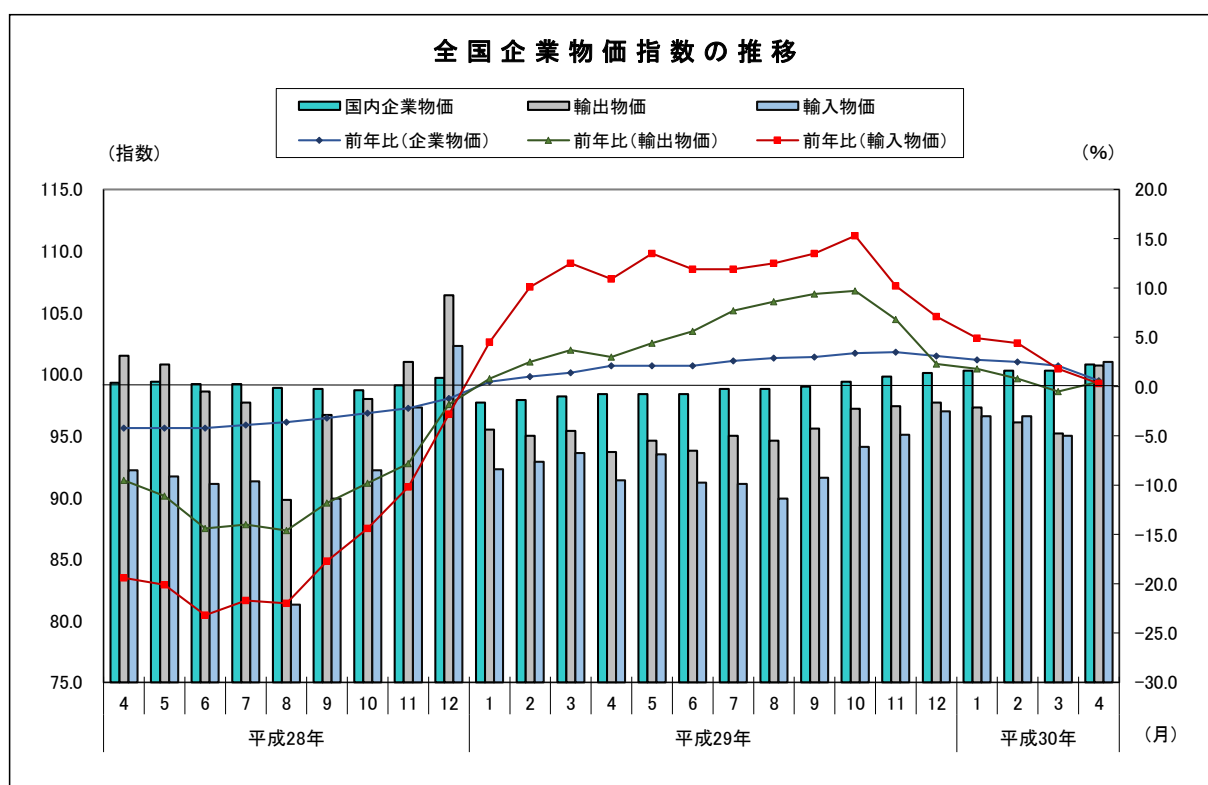
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	100.4	0.1	2.0
輸 出 物 価	95.8	0.5	2.2
輸 入 物 価	96.0	1.2	5.0

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、スクラップ類（前月比5.4%減く鉄くずなど）等が減少したが、飲食料品（同0.1%増くたばこなど）、石油・石炭製品（同1.4%増くガソリンなど）、窯業・土石製品（同0.8%増く炭素など）、鉄鋼（同0.5%増く小形棒鋼など）、非鉄金属（同0.7%増くアルミニウム鍛造品など）、金属製品（同0.8%増く金属製管継手など）、電気機器（同0.7%増くルームエアコンなど）、電力・都市ガス・水道（同1.0%増く産業用特別高圧電力など）等が増加し、円ベースでは前月比0.1%の増加（前年同月2.0%増）となった。

輸出物価は、化学製品（前月比0.1%減くスチレンモノマーなど）等が減少したが、金属・同製品（同0.7%増く鉄くずなど）、はん用・生産用・業務用機器（同0.3%増くカメラ用交換レンズなど）、電気・電子機器（同0.2%増くモス型メモリ集積回路など）、輸送用機器（同1.0%増く駆動・伝導・操縦装置部品など）等が増加し、円ベースでは前月比0.5%の増加（前年同月比2.2%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比1.1%増くとうもろこしなど）、金属・同製品（同0.5%増く銅鉱など）、木材・木製品・林産物（同2.2%増く米材製材など）、化学製品（同0.9%増くポリアミド樹脂など）はん用・生産用・業務用機器（同1.1%増くポンプなど）、電気・電子機器（同1.7%増くモス型ロジック集積回路など）等が増加し、円ベースでは前月比1.2%の増加（前年同月比5.0%増）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、34,986人(前年同月比6.9%増)で、30か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は108,226人(同6.5%増)で95か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比8.8%増で2か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.9%増で27か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同4.9%増で13か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比3.2%増)、製造業(同11.3%増)、運輸業、郵便業(同13.5%増)、卸売業、小売業(同0.6%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同3.5%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同21.5%増)、医療、福祉(同6.6%増)、サービス業(同13.6%増)は増加したが、宿泊業、飲食サービス業(同14.2%減)は減少した。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は18,489件(前年同月比4.5%減)で6か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、74,330人(同4.5%減)で94か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比4.9%減で19か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同3.8%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比20.0%増で4か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比5.5%減で6か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同2.8%増で27か月ぶりに増加した。自己都合離職者は同6.1%減で28か月連続して前年を下回り、自営・他は同3.7%減で4か月連続して前年を下回った。無業者は同12.5%減で75か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、15,852人(前年同月比7.2%減)で62か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.06倍(前月比0.06ポイント減)で前月を下回り、有効求人倍率が1.38倍で前月と同水準だった。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.5%、完全失業者数(原数値)は173万人(前年同月比15万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.7%(前年同月比0.5ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は28万人(前年同月差5万人減)であった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
30年3月	34,986	2,378	4,013	362	1,793	4,313	220	692	910	2,390	1,482	9,353	5,231
前年同月比	6.9	3.2	11.3	26.6	13.5	0.6	36.6	▲1.3	3.5	▲14.2	21.5	6.6	13.6

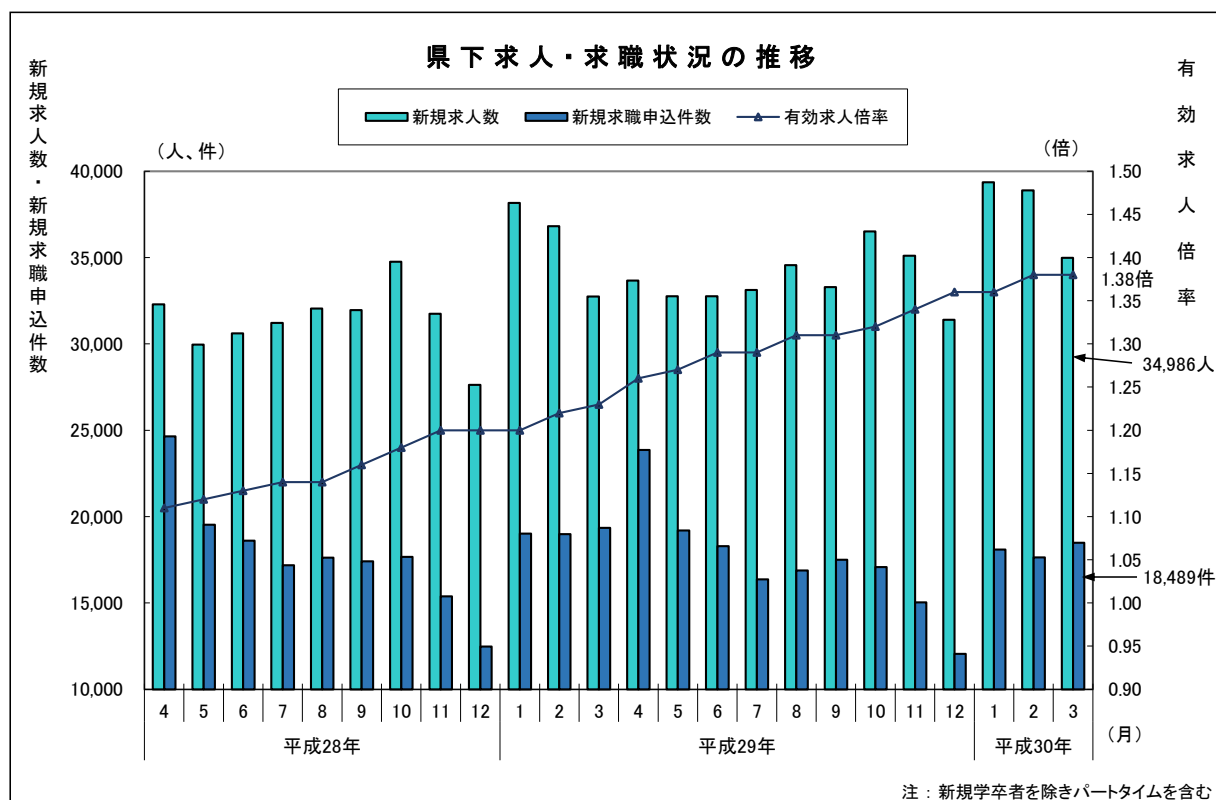
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	17/1-3	17/4-6	17/7-9	17/10-12	18/1	18/2	18/3
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.21	1.27	1.30	1.33	1.36	1.38	1.38
新規求人数 (原数値、前年比%)	5.9	6.8	6.0	9.7	3.1	5.6	6.9
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	0.2	▲1.4	0.6	▲0.7	4.2	7.2	2.9
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.5	▲0.1	▲1.0	▲0.6	0.0	0.5	0.6
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	1.9	1.7	1.8	1.0	1.4	1.3

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

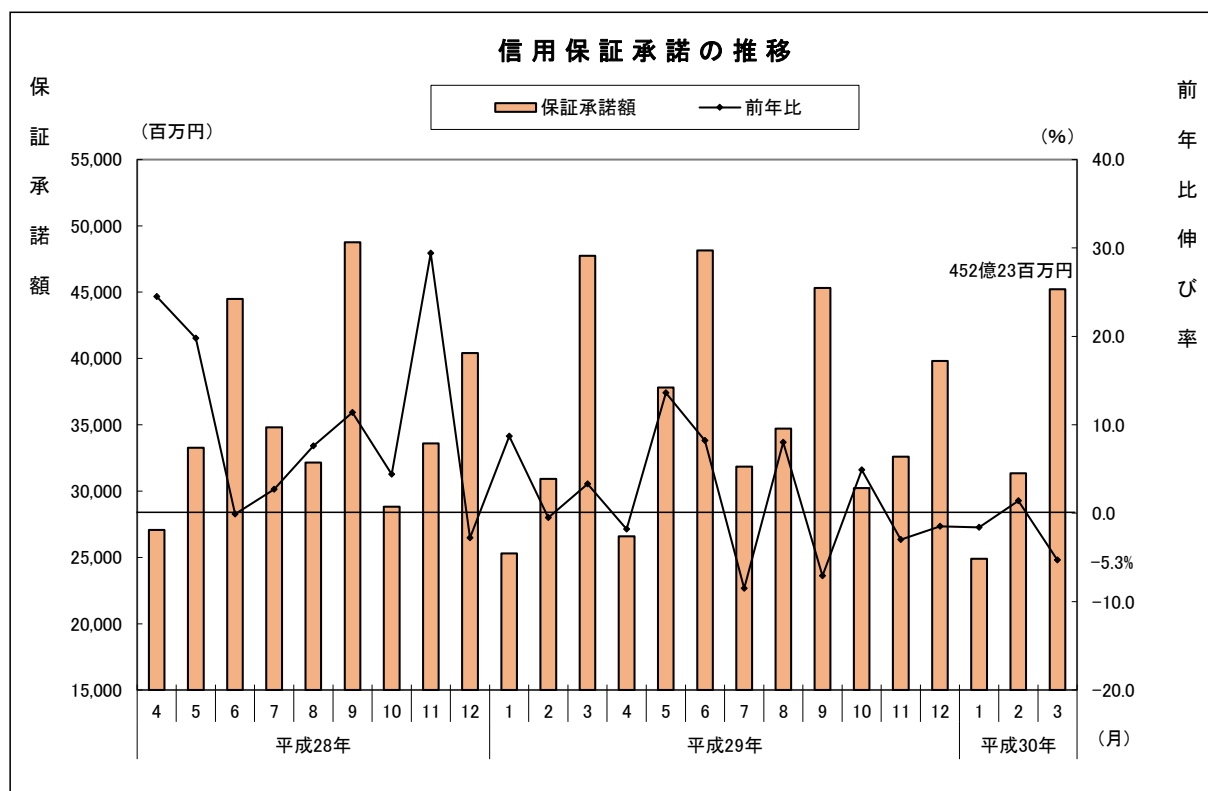
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾は、件数で2,555件(前年同月比8.6%減)、金額は452億23百万円(同5.3%減)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

資金使途別では、運転資金42,532百万円(前年同月比3.0%減)、設備資金966百万円(同27.8%減)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに下回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」1,735百万円(前年同月比43.7%増)、「運送・倉庫業」3,094百万円(同13.4%増)、「建設業」12,566百万円(同12.1%増)、「小売業」5,953百万円(同7.4%増)で前年同月を上回り、「サービス業」6,233百万円(同8.6%減)、「製造業」7,486百万円(同17.6%減)、「卸売業」6,382百万円(同27.2%減)、「不動産業」1,385百万円(同29.0%減)等で前年同月を下回った。

3月末の保証債務残高は、92,683件(前年同月比0.9%増)、1兆965億50百万円(同2.1%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、110件(前年同月比0.0%)、13億86百万円(同18.5%減)となった。



【金 融】

3月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

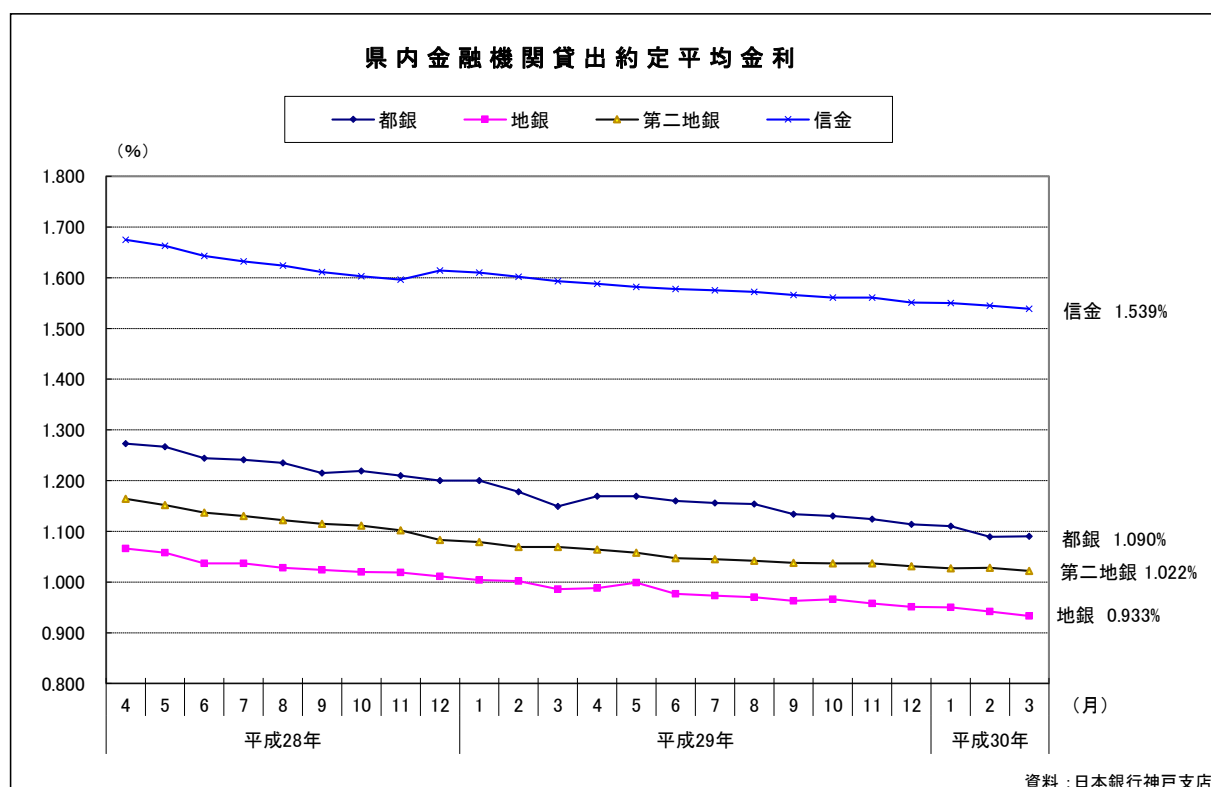
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	168,288	2.5	54,976	▲ 1.7
地 方 銀 行	28,658	3.8	28,880	7.8
第 二 地 方 銀 行	35,059	2.4	23,414	1.6
信 用 金 庫	86,057	1.9	40,306	1.7
そ の 他	18,174	1.6	17,518	▲ 0.9
計	336,236	2.4	165,094	1.3

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

3月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比 2.4%増)

3月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比 1.3%増)

3月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準 1.205%、前月比 ▲0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内 4 月の企業倒産件数（負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は 33 件で前月比 10 件（23.25%）の減少、前年同月比 1 件（2.94%）の減少となり、負債総額は 34 億 57 百万円で前月比 2 億 2 百万円（6.20%）の増加、前年同月比 6 億 80 百万円（24.48%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が 25 件（全体の 75.8%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が 9 件（前年同月比 5 件増）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金 1,000 万円未満の倒産が 24 件発生し、全体の 72.7%を占めた。

2018 年 4 月の倒産件数は平成年間に入ってから 30 年間では 5 番目に倒産件数が少ない新年度のスタートとなった。一方で負債総額は、5 億円以上の倒産はなかったものの、負債額 4 億円を超える倒産が 3 件発生したことなどから全体を押し上げる格好となった。

資本金別では個人企業他を含めた資本金 1 千万円未満までの件数は 24 件発生、また、負債額別では 1 億円未満が 26 件発生し、負債総額自体は増額したものの、近年特徴となっている「小規模な倒産」が当月も多かったことがわかる。原因別、形態別などの状況も踏まえると、業績不振・販売低迷に喘ぐ中小・零細業者が中小・零細業者が市場からの撤退を余儀なくされている状況が当月も浮かび上がってくる。

「売手市場」が続く就労環境や 2 万円台前半を維持する株価の一方で景気回復の実感に乏しいなか、国内消費の低迷を主軸として、保護主義台頭に伴う弊害への懸念や空転する国会審議等に見られる行政・政治への不信感など先行きへの不安が根強いのが実情と言える。このなか、大型倒産が急増する懸念は見られないものの、今しばらくは小規模倒産を中心として、中長期的には緩やかながら倒産件数は増加傾向を辿っていくことも考えられる。

4 月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額 1,000 万円以上）

原 因 別						業 種 別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放 漫 経 営	3	3	0	3	0	建 設 業	3	6	▲ 3	9	▲ 6
過 小 資 本	0	2	▲ 2	2	▲ 2	製 造 業	4	3	1	3	1
連 鎖 倒 産	5	1	4	0	5	卸 売 業	6	4	2	6	0
赤 字 累 積	1	0	1	6	▲ 5	小 売 業	9	8	1	4	5
販 売 不 振	24	37	▲ 13	22	2	情 報 通 信 業	0	0	0	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サ ー ビ ス 業	9	20	▲ 11	10	▲ 1
そ の 他	0	0	0	1	▲ 1	不 動 産 ・ 運 輸 業 他	2	2	0	2	0
合 計	33	43	▲ 10	34	▲ 1	合 計	33	43	▲ 10	34	▲ 1

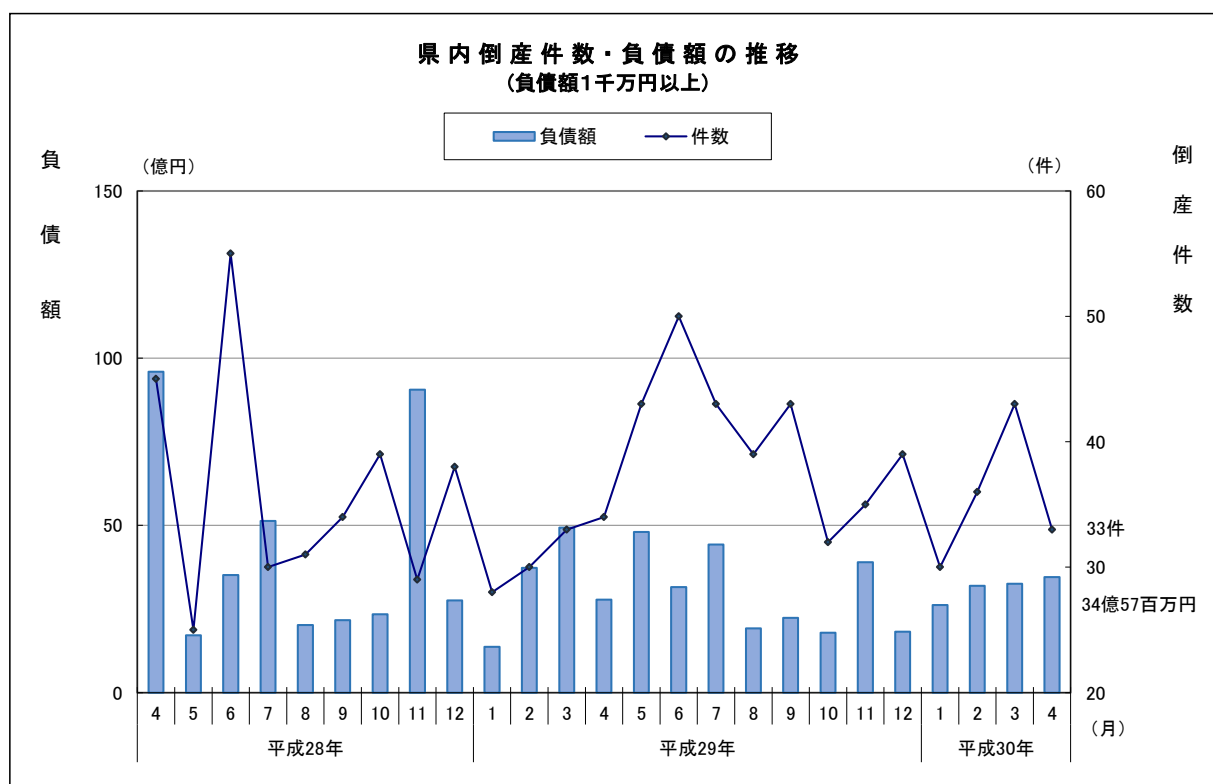
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総 数	神 戸	阪 神	西 播	東 播	但 馬	丹 波	淡 路
24 年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25 年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26 年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27 年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28 年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29 年 1 月	28	8	9	7	4	0	0	0
29 年 2 月	30	14	9	2	3	1	1	0
29 年 3 月	33	12	8	4	6	2	0	1
29 年 4 月	34	14	10	4	3	0	2	1
29 年 5 月	43	20	14	4	2	2	0	1
29 年 6 月	50	16	20	4	5	4	1	0
29 年 7 月	43	17	12	8	5	1	0	0
29 年 8 月	39	14	8	9	4	2	0	2
29 年 9 月	43	11	20	8	2	1	0	1
29 年 10 月	32	7	8	7	7	1	0	2
29 年 11 月	35	14	7	6	4	1	1	2
29 年 12 月	39	15	12	1	7	1	1	2
30 年 1 月	30	12	4	6	5	2	0	1
30 年 2 月	36	18	6	5	5	2	0	0
30 年 3 月	43	15	16	5	5	1	0	1
30 年 4 月	33	11	8	7	7	0	0	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項 目 年 月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全 国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全 国 (既存店)	兵 庫 県		全 国
	指 数	前月比 (%)	指 数	前月比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台 数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	162	△ 3.0	△ 1.1	13,816	1.4	4.4
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	132	△ 4.1	△ 2.7	17,070	7.8	8.2
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	157	△ 2.4	△ 0.8	23,033	11.6	9.6
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月	103.1	8.4	103.0	0.5	116.4	△ 5.1	△ 0.5	12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月	104.3	1.5	103.5	0.5	129.8	△ 0.4	3.6	13,241	△ 4.7	△ 2.7
12月	99.5	△ 5.1	106.5	2.9	188.7	△ 1.6	0.8	13,867	1.5	△ 0.8
30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月								12,334	5.5	2.6
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
資 料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

* p は速報値 r は確報値

項 目 年 月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全 国	兵庫県		全 国	輸 出		輸 入	
	戸 数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
29年 1月	3,297	6.0	12.8	168	40.1	7.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	3,190	47.8	△ 2.6	151	△ 56.4	10.4	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	2,403	△ 21.3	0.2	293	18.5	10.9	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月	2,771	△ 1.4	△ 5.3	319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月	2,766	△ 7.9	△ 0.4	157	△ 6.4	5.0	5,056	18.6	2,891	12.2
12月	2,993	4.3	△ 2.1	189	△ 4.9	△ 6.4	5,349	8.5	2,701	8.3
30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月				418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
資 料	兵庫県住宅地課		国 土 交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神 戸 税 関			

項 目 年 月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全 国		兵庫県 (季調値)	全 国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指 数 (22年=100)	前年比 (%)
	指 数	前年比 (%)	指 数	前年比 (%)						
29年 1月	100.0	△ 0.4	100.0	0.4	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4
2月	99.8	△ 0.3	99.8	0.3	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3
3月	99.6	△ 0.4	99.9	0.2	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6
4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2	100.6	0.2	1.31	1.55	1,052	△ 0.1	103.3	2.0
11月	101.1	0.5	100.9	0.6	1.32	1.56	1,053	0.1	102.9	0.3
12月	101.4	0.3	101.2	1.0	1.36	1.59	1,047	△ 0.4	103.3	1.0
30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6								
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
資 料	兵庫県統計課		総 務 省		兵庫労働局		兵庫県統計課			

項 目 年 月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年＝100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全 国		金 額		全国銀行	倒 産 件 数 (件)	負 債 総 額 (億円)	地域別倒産件数		
	指 数	前年比 (%)	(各期末) (億円)	前年比 (%)				神 戸 (件)	阪 神 (件)	播磨他 (件)
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4	160,424	2.0	0.955	32	17	7	8	17
11月	99.8	3.5	160,904	1.9	0.954	35	38	14	7	14
12月	100.1	3.1	162,274	1.8	0.946	39	18	15	12	12
30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3		43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0				33	34	11	8	14
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
資 料	日 本 銀 行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値